

BOOK TREE

一本の樹

ブックツリー

No.140

仙台市図書館

テーマ

しろ
白

ふゆ 冬がきて ゆき 雪がふってくると
そと 外は まっしろな せかい 世界になるね。
だれも いないのかな？
よくみてごらん。どうぶつたちが
かくれているよ。

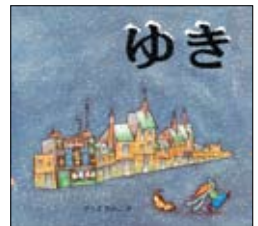


えほん

ゆき

ユリ・シュルヴィッツ／作 さくまゆみこ／訳 あすなろ書房

どんよりとした はいいろの そらから ゆきが ひとひら。おとこのこが はじめに それを みつけます。おとなは「これっぽっち…」と あいてに しませんでしたが、ゆきは あとから あとから ふつてきて、とうとう どこも かしこも まっしろになりました。



こ 子うさぎましろのお話

ささきたづ／ぶん みよしせきや／え ポプラ社

サンタ＝クロースからの おくりものは、どのこどもにも 一かいきりですね。しろうさぎの子 “ましろ” も それを しています。でも、ましろは かんがえました。「そうだ。べつの うさぎの子に なれば いい。『まだ、おくりものを もらわない。』っていえば いいんだ。」



しろ うま スーホの白い馬—モンゴル民話—

おおつかゆうぞう さいわ あかばすえきち が ふくいんかんしよてん
大塚勇三／再話 赤羽末吉／画 福音館書店

スーホがたすけた生まれたばかりの子うまは、みとれるほどりっぱなしろうまにそたちました。ある年の春、町でけば大会がひらかれることになり…。



しろいうさぎとくろいうさぎ

ガス・ウィリアムズ／ぶん・え

まつおかきょうこ／やく 福音館書店

もりのなかに、しろいうさぎとくろいうさぎが、すんでいました。ニひきは、まいにち たのしくあそんでいます。



ちいさなしろくまくんのおはなし
ドロシー・シェリル／作 湯沢朱実／訳 こぐま社

ちいさなしろくまくんは、うちじゅうでいちばんちいさなくまです。

あるばん、まだねむくなかったしろくまくんは、こっそりおうちをぬげだしました。しろくまくんがとをあけると、そとはまっくらで、ゆきがつもっていました。



ねずみのおんがく一家 ゆきこんこまつりの日
わたりむつこ／さく ましませつこ／え PHP研究所

ねずみの町に、ことしもゆきこんこまつりの日がやってきました。チューシツク一家のベルは、このふゆのいいおもいでをつくるため、コーラス隊メンバーのオーディションをうけることにしました。
(品切れ・重版未定)



風の子のミトンとあなぐまモンタン
茂市久美子／作 なかむらえつこ／絵 学習研究社

ひだまり村に、小さなせんたくやがあります。あなぐまのモンタンの店です。

朝から風のつよい日、むささびや、うさぎや、くまが、空からおちてきたミトンをひろって、モンタンのところにもってきました。



ぼくのおなかがしろいわけ
くまだいさむ／さく え こうだんしゃ 熊田勇／作・絵 講談社

こねこのタムは、ともだちとのやくそくに おくれがち。ある日、とうとうともだちを おこらせてしまいました。ゆるして もらおうと、木の みを とりに 林の 中に入っていきますが…。“やくそく”のたいせつさを おしえてくれる おはなしです。



シッブ船長とゆきだるまのユキちゃん
かどのえいこ／さく オームラトモコ／え 偕成社

けっして いやとは いわない シッブ船長は、いちばん北のくからいちばん南のくにに ゆきだるまを とどけてくださいと たのまれました。どんどん とける ゆきだるまをのせて、船は南へすすみます。



ゆき雪だるまのひみつ
ルース・エインズワース／作 こうもとさちこ やく いわなみしよてん 河本祥子／訳 岩波書店

ピッパがつくったりっぱな雪だるまは、ニンジンで口をつけると、おしゃべりができるようになりました。

雪だるまと友だちになったピッパは、雪だるまにピーターキンというなまえをつけて、いっしょにあそぶことにしました。



しろくまだって

さいとうひろし さく たかばけじゆん え こみねしよてん
齊藤洋／作 高島純／絵 小峰書店

カナダの北のほうに、トラックがおと
していった荷物をひろってくらしている
しろくまの兄弟がいました。兄弟はテレビももっ
ていますが、電気がない
から見られません。そこ
で、電気がある人間の町
にいくことにしました。



じょう ぼうけん
くらやみ城の冒険(ミス・ピアンカシリーズ1)

マージェリー・シャープ／作 さく わたなべしげ お やく
渡辺茂男／訳

ガス・ウィリアムズ／絵 え いわなみしよてん
岩波書店

くらやみ城に囚われの詩人を救うため
囚人友の会のねずみたちに選ばれた、
大使のぼうやにかわられて
いる白ねずみミス・ピアンカ。銀のネックレスを
したミス・ピアンカは、
その話をきいたとたんに、
きぜつ
気絶してしまいました。



はくば
ケルトの白馬

ローズマリー・サトクリフ／作 さく はいじま やく しゆっばん
灰島かり／訳 ほるぶ出版

イケニ族の族長の子ルプリンは、五
歳の夏の日、父につれられて、馬の大
移動を見た。群れの中からとびだした白
い馬が、稲妻に照らされ
て、幻のように消えていっ
た。ルプリンは、その姿を
一生忘れることができな
かった。やがて、次の族長
を選ぶ儀式が近づいて…。



ふゆ
冬のおはなし

まつい 松居スーザン／作 さく やまうち え え
山内ふじ江／絵 ポプラ社

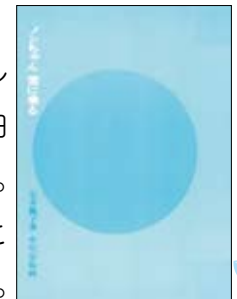
ながい冬の森には、春をまつあいた、
いろいろなことがおこります。つめたい
風が湖の上をふきわたる
ころ、キツネとカラスが
はいろ
灰色の空を見あげると、
なにかがとんできました。
それは、羽をいためた、
オオハクチョウでした。



くもの
ノンちゃん雲に乗る

いしいももこ ちよ なかがわそう や が ふくいんかんしよてん
石井桃子／著 中川宗弥／画 福音館書店

おかあさんと、にいちゃんが、ノン
ちゃんにひみつで、おでかけしてしま
いました。だれも、気もちをわかってくれ
ないので、ノンちゃんは、
ひとりで木にのぼりまし
た。下の池には、まっ白
い雲がうかんでいます。
とびたいと思ったそのと
き、ノンちゃんは空へ…。



その他にこんな本もあります

ながいながいペンギンの話

いぬいとみこ さく やまださぶろう え りろんしゃ
いぬいとみこ／作 山田三郎／絵 理論社

きた
北のはてのイービク

ピーパルク・フロイゲン さく のむらひろし やく いわなみしよてん
野村滋／訳 岩波書店

だに ふゆ どうわ ぜんしゅう
ムーミン谷の冬(ムーミン童話全集5)

トーベ・ヤンソン さく え やまむろしづか やく こうだんしゃ
山室静／訳 講談社

はくちよう
タランの白鳥

かんざわとしこ さく おおしまてつ い が ふくいんかんしよてん
神沢利子／作 大島哲以／画 福音館書店

しろ
白いおうむの森

あ わ な お こ ちよ かいせいしゃ
安房直子／著 偕成社

「イグルー」をつくる

ウーリ・ステルツァー／写真と文 千葉茂樹／訳 あすなろ書房

北極地方に住むイヌイットとよばれる人びとは、イグルーという雪の家でくらしている。イグルーはナイフやノコギリで雪のブロックを切り、うずまき形につんでつくっていく。ブロックのすきまにはやわらかい雪をつめ、まどやえんとつをつけてできあがりだ。(小学校低学年から)



雪の結晶ノート

マーク・カッシーノ ジョン・ネルソン／作 千葉茂樹／訳 あすなろ書房

気温がさがると、ちりのまわりに水蒸気がくっついて美しい雪の結晶ができる。人間におなじ人がいないように、結晶もおなじものはないんだよ。雪がふったら、雪の結晶の観察をしてみよう!



しょうがっこうていがくねん
(小学校低学年から)

もちの絵本 (つくってあそぼう4)

えがわかずのり／へん たけうちつーが／え 農山漁村文化協会

鏡もちをお供えして、お雑煮を食べる日本のお正月。お雑煮は、新しい年の神さまをお迎えしていっしょに食べるごちそう。お年玉も、神さまの力をもちに託して分けあたえたのがはじまり。神さまとともに食べてきたおもちって、どんな食べものなんだろう。(小学校 中学年から)



世界を動かした塩の物語

マーク・カーランスキー／文 S.D. シンドラー／絵 遠藤育枝／訳 BL出版

わたしたちが生きていくには、塩がかかせません。今はどこの家にもある塩ですが、昔はとても貴重品でした。塩をめぐる戦争や革命がおきたこともあります。人間と塩の歴史をたどってみましょう。

しょうがっこうていがくねん
(小学校高学年から)



仙台市民図書館
ひろ瀬図書館
みやぎの宮城野図書館
つじがおかと 榴岡図書館
わかばやしと 若林図書館
たいはくと 太白図書館
いずみと 泉図書館

仙台市青葉区春日町2-1
仙台市青葉区下愛子字観音堂5
仙台市宮城野区東仙台4-1-1
仙台市宮城野区榴岡4-1-8
仙台市若林区南小泉1-1-1
仙台市太白区长町5-3-2
仙台市泉区泉中央1-8-6

TEL 022-261-1585
TEL 022-392-8421
TEL 022-256-7361
TEL 022-295-0880
TEL 022-282-1175
TEL 022-304-2742
TEL 022-375-6161

URL <http://lib-www.smt.city.sendai.jp>